

第5回甲州市学校再編審議会 会議録

I 会議概要

- 1 開催日時 令和2年1月23日(木) 19:00～19:47
- 2 開催場所 甲州市役所1階 国際交流市民交流センター
- 3 出席者 雨宮 亘委員、岡 武男委員、古屋 久委員、小林一三委員、伊藤和良委員、渡邊 靖委員、加山大洋委員、三森俊彦委員、手塚智彦委員、五十嵐妙子委員、山本 睦委員
<事務局職員> 教育長保坂 一仁、教育総務課長村松 泰彦
教育総務担当リーダー清水 修、学校教育担当リーダー河村 敬
- 4 次 第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 教育長あいさつ
 - 4 議事
 - (1) 甲州市小中学校の再編に関する基本的な考え方について(答申)(案)
 - (2) その他
 - 5 その他
 - 6 閉会
- 5 配布資料 資料1 甲州市立小中学校の再編に関する基本的な考え方について(答申)(案)

II 会議録

1. 開会

事務局：こんばんは。ただいまから第5回甲州市学校再編審議会を開会いたします。なお、坂本土郎委員は所要のため欠席、三森俊彦委員は遅れておいでになるとのことでございます。よろしくお願いいたします。

それでは、雨宮会長からご挨拶をいただきたいと思います。会長よろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

会 長：この会も5回目になりました4回目以降事務局の方で、答申案をまとめていただきましたが、委員の皆様から意見もあったとのことで、第2案が示されました。市の方でも市長が辞職されるとのことで、3つの選挙が同時に行われる情勢です。

教育の事を心にとめてもらえればと強く思っているところです。この会は事務局でまとめた案に対して最終的な答申を決定していかなければなりません、予定された会は本日までですので忌憚のない意見をいただいて決定していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします

事務局：つづきまして教育長よりごあいさつをいただきます。保坂一仁教育長よりお願いいたします。

3. 教育長あいさつ

教育長：お忙しい中、また夜分お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。

1月に入り20日が大寒とのことで寒の入りとなったわけですが、異常気象と言えるでしょうか、過ごしやすい気候であるかなと思っています。この反動が農作物への反動とならないか気になるところです。教育情勢の話をしさせていただければと思いますが、3学期に入り子供たちは元気に暮らしています。当初インフルエンザの流行も見られ、1校では学年閉鎖もありましたが、他は大きな感染に至らない状況となっています。健康に対しては心して対応して参りたいと思います。昨日はPTAと教育委員会の主催で、教育講演会が行われ健やかな子どもを育てるとのことでお弁当の日の提唱者である竹下和男先生を香川県からお招きして行いました。大ホールに500人程の方に参加をいただき、感想の中にも衝撃的であった、目を覚ますような内容であったと多くいただきました。教育界は文科省の方針のもと高いレベルの教育を目指しています。インターナショナル、グローバルな国際社会に向けて英語教育やプログラミング教育の推進や学びの中でも議論するような質の高い教育を行っています。竹下先生は、家庭団欒の食生活から教育を考えていかなければいけないのではないかと述べています。人は置かれた環境に適応していくので、家庭生活や学校生活で基本的なことをみっちりやって自立した生活をさせることが教育の原点であるとおっしゃっていました。教育を預かるものとしては、家庭のしっかりした育ての中で学校として何ができるか考えながら取り組んでいかなければいけないと思いを強くしたところです。甲州市は、自然が豊富で、自然をベースとした道祖神や子どもクラブの取り組みもごございます。コミュニティを取りながらやっていくことが大事だと思いました。今日は、8月28日に諮問した内容について、雨宮会長始め、委員の皆様には、まとめの段階となりました。甲州市が、学校教育をどのように組織してやっていたら、子どもたちの将来の力になるのか考えていただいて、答申をしていただければと思います。よろしくお願いします。

事務局：議事に入るところですが、お手元に答申案を改めて配付させていただいています。

12月末に郵送したものに文言を訂正させていただいています。

4. 議事

事務局：それでは議事に入らせていただきますが本委員会の設置要綱第6条によりまして会長が議長になっていただくことになっておりますので、雨宮会長には議長になっていただきまして進行の方をよろしくお願い申し上げます。では、よろしくお

願いたします。

議長：それでは議事に入ります。

まずは、変更点について事務局より説明をお願いします。

事務局：（文言の訂正について説明）

議長：文言についてはよろしいでしょうか。12月末からこれまでに内容を確認する時間もあつたかと思しますので、1番から順を追って、確認をしたり、意見を述べていただければと思います。1番については、議論の中で事務局から説明があつたり、皆さんから説明があつたことをまとめてもらったものですが、落としがあつたり、この言い回しではどうかと言つた意見がありましたら出してもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員：（意見なし）

議長：本市の現状と行政と学校側が努力していること、課題も記載されているかと思しますので、このままでいきたいと思つたので、2番目は学校再編の考え方について3つに分けて記載されています。まずは子どもたちの教育環境を考えること。2点目は合意形成に向けて配慮すること。3点目は2点には入らないけど配慮すべきこと。ということで、7点にわたって箇条書き的に書かれていますがよろしいでしょうか。

委員：（意見なし）

議長：この考え方に基ついて、3番目の基本方針について記載されています。論議の中で、小中学校を分けて考えた方がよいとの意見がありましたので、分けて記載していただいたかと思つたのですが、小学校についてはなるべく再編しない方向で考えましょう。との考え、中学校については再編やむなしとの考え方と、できるだけこのままでやっていけるなら、このままがよいとの考えの2案が示されていますが、ここは大切なところですので、論議を確認のために今一度していただきたいと思つた。小学校についての異存はないでしょうか。付け加えたりすることがあれば、おっしゃっていただければと思つたのですが。よろしいでしょうか。中学校については2つの案を併記する形になっていますが、本来、答申は1つにまとめるに、こしたことはありません。いろいろな事情の中で、行政も学校も努力をいただいているので現状を維持できないでしょうかとの1案と、そうはいつても、中学校の現状を鑑みると、教科外活動の部分ではかなり課題もあるとの意見もありました。それを踏まえて再編やむなしとの2案があります。もう少しついでに検討した方がよいとするのか。検討してくださいとするのかありますね。

委員：これまで4回の議論をした中で、いろいろな意見が出されました。この案がベストではないかと思つた。再編を目指す場合にも配慮することが述べられていますのでよいかと思つた。これ以上まとめるのは難しいのではないのでしょうか。

委員：再編についてつきつめていくと、学校ごとにどうするのかといった話になるかと思つた。これでよいのではないのでしょうか。

委員：県議会の中でも少人数教育の推進について質問がされ、県教育長が進めていく方

向で意見集約を図り、今年度中には方針を示すと述べていました。そんな中で、小学校は現状維持をして欲しいと思いますし、中学校は今後さらに論議することが大事であると思います。

委員：細かく答申案を見させてもらいました。委員の意見は反映されていると思います。これでよいのではないのでしょうか。

委員：出生数が年々減少していることを考えると、何年後かはもっと減少しているかと思います。課題として述べられているので、これで良いのではないかと思います。

委員：将来的な人口のことを考えて再編するのも良いとの意見もあったかと思いますが、子どもの人数を基準に学校を無くしてしまうと地域が衰退していくと思います。人口を増やして活気ある街づくりを目指すべきだと思います。昨日の教育講演会でも、地域、家庭、学校全体で子どもたちとは、きめ細やかに接することが大事であると思いました。コミュニティスクールもそうですが、地域と学校が一体となって人間形成ができるのではないかと思います。

委員：保護者の間でも、両方の意見が出されています。この案で良いのではないのでしょうか。

議長：課題としてはずっと残っていくのかと思います。中学校の教育をどうしていくのかは研究していかなければいけないと思います。学校が無くなると、ニュース報道や追跡ドキュメントなどでも深刻な問題だと思います。一度閉鎖したものを再度復活させるのは相当大変な作業ですので十分な議論が必要だと思います。

4番の配慮事項については、委員会や学校への宿題ではありますが、地域への説明責任を十分果たしてもらいたいと思いますが、付け加えたり、訂正箇所はありますでしょうか。

委員：再編を目指す場合には、再編をすることが決まってから地域住民に話すのではなく、決まる前の段階で合意形成を図ってもらいたいと思います。

議長：難しい表現になるかと思いますが、事務局で再度作っていただいて、副会長と中身を確認させていただくことでよいのでしょうか。

その他として何かありますでしょうか。

委員：市長がここで代わりますが、答申が活かされていくのか確認をしたいのですが。

教育長：皆様にご足労かけたこの答申は大事にしていきたいと思っています。教育総合会議の中で、市長の意向も示されるかと思いますが、教育委員会と話し合いをし方向性を示した中で、住民の皆様にも時間をかけて協議していきたいと思っています。市長が代わったからと言ってこの答申が破棄されるものではありません。

議長：それでは、議長の職を下ろさせていただきますが、県内他市でも関心事となっており、何人かの知人から大変だと言われたり、どうするのかと尋ねられてもおりました。山梨県全体が、課題となっているのかなとも感じました。十分な論議もできなかったかもしれませんが、ご協力ありがとうございました。

事務局：雨宮会長には、長きにわたる会の運営をありがとうございました。何点か、文言の整理をしたいと考えておりますので、内容の精査をさせていただければと思

ます。整い次第、会長、副会長に確認をいただき、委員の皆様へ配付させていただきます。

5. その他 なし

事務局：長時間にわたるご審議ありがとうございました。小林一三副会長より閉会のことばをお願いいたします。

6. 閉会

副会長：委員の皆様には長い時間にわたり活発な議論をいただき、色々な意見の中で集約されたものと思います。答申もこれからの教育行政に十分配慮していただいて新しい市長にも答申に沿って進めていただければと思います。本日はありがとうございました。